

武蔵工業大学後援会誌

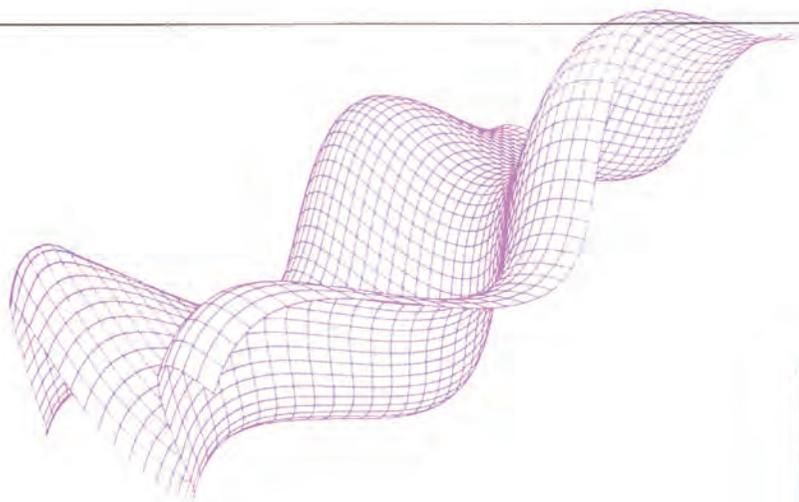
# Mi-com

No. **6**

1992-7



シーズン到来、プールの周辺が騒がしくなる。水泳大会にて。



## 『役に立つ大学』

マイコム第6号の発刊に当たり、武蔵工業大学後援会会員と関係者の皆様方にご挨拶申し上げます。

武蔵工業大学後援会が発足して4年目を迎えました。これで全学年に亘って入学時に後援会への入会をお願いできたことになり、会員数が安定したものと思われまます。その数は5月1日現在で3,711名であり、入会率は約80%であります。お蔭さまで、会の基盤も確立し、本格的な活動ができるようになりました。これも関係者各位のご協力の賜ものと感謝申し上げます。

去る5月30日に平成4年度の評議員会が開催され、次頁以降に示すように平成3年度の事業報告、決算、平成4年度の事業計画、予算、平成4年度の役員・評議員が承認されました。引き続き小生が同会会長に再任されましたので、微力ながら武蔵工業大学発展のため、また3,711名の会員の期待にお答えするよう全力を尽くす所存でございます。どうか皆様方のご支援ご協力の程よろしく申し上げます。



武蔵工業大学後援会  
会長

金原 淑郎

さて週刊ダイヤモンド5月23日号に、  
理系80大学を初評価

“役に立つ大学”

という記事が掲載されました。

総合評価では我が武蔵工業大学は早稲田大学・東北大学・大阪大学・東京大学……につづいて第36位です。

これは企業が大学をどう見て何を求めているかをレポートしたものです。勿論大学は研究と教育の場であり企業に迎合する必要はないと思います。大学に求められるものはむしろ役に立つかどうかを気にすることなく研究でも教育でも、人間性を重要視して自主的にやるべきであり、そういう姿勢のなかから技術者に必要な能力や資質が育成されるものだと考えます。後援会の最大の目的は学生の人間性を高めることに貢献することです。この目的のためにより良い活動を展開したいと念願しています。

武蔵工業大学の益々の発展のため、関係各位のご支援を重ねてお願い申し上げます。

# 平成4年度 評議員会が開催される

武蔵工業大学後援会の平成4年度評議員会が平成4年5月30日(土)午後2時45分から大学の3号館312教室において役員、評議員63名(委任出席8名)の出席のもとで開催されました。

評議員会は金原淑郎会長の挨拶で始まり、役員および今年度新しく評議員に就任された方々が紹介された後、議事に入った。

議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明があり、その後、この説明にもとづいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。



▲あいさつする金原会長



▲評議員会の審議風景



▲大学との懇親会

## 武蔵工業大学後援会 平成4年度 評議員会

平成4年5月30日(土)  
武蔵工業大学312教室

1. 開会の辞 — 金原会長 —
2. 報告事項  
平成4年度後援会入会者数および会員数について
3. 議 事  
第1号議案 平成3年度 事業報告について  
第2号議案 平成3年度 決算報告について  
第3号議案 平成4年度 事業計画案について  
第4号議案 平成4年度 予算案について  
第5号議案 平成4年度 役員の選任について
4. そ の 他  
会務の処理に関する事項
5. 閉会の辞 — 宮崎副会長 —

## (1) 事業

### 1. 正課外教育援助

- 「課外活動に対する補助制度」による援助は、61団体となった。

#### 主な援助対象

- (1)学生団体連合会への援助
  - (2)体育祭、水泳大会、Mi-Techテニストーナメント、MIT祭、ESSディベート大会等への援助
  - (3)ラグビー部の全国地区対抗戦の出場へ援助
  - (4)学生団体連合会リーダーズ研修会へ援助
  - (5)学生団体連合会の本部へ共同利用什器・備品としてワープロ購入に援助
  - (6)クリーン・キャンパス運動に対して援助
- 大学と学生団体の共催行事のスプリングフェスティバル'91の講演会への援助
  - 大学の課外活動賞（学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞）のうち課外活動奨励賞の副賞（盾）に本会の名を刻して贈呈
  - 学生部の委員による学生団体の合宿激励視察訪問（15団体）
  - 留学生の合宿研修への援助

### 2. 「大学と父母の連絡会」への援助

- 全国21会場で開催された「父母との連絡会」に282万円を援助。

全国の各会場において役員、評議員の方々に会の運営に協力を得た。

早川評議員、大竹評議員（北海道）、佐藤評議員（福島）、水野評議員（仙台）、川田評議員（宇都宮）、千野評議員（甲府）、小笹評議員（金沢）、木滑評議員（新潟）、奥村評議員（静岡）、安藤評議員（名古屋）、内田評議員（福岡）、飯尾評議員（大分）、今村理事（東京）  
〔敬称略〕

- 東京会場において今村理事が後援会を代表して挨拶（平成3年9月23日）

### 3. 大学行事への協力

- 平成3年度入学式に金原会長が来賓として出席し

祝辞（平成3年4月2日）

- 学校法人五島育英会傘下の後援会合同懇親会に金原会長、宮崎・井出副会長、外山・大喜多監査が出席（平成3年6月29日）
- 大学の「文化講演会」—野塚昭如氏に対して援助（平成3年12月4日）
- 平成3年度学位授与式（卒業式）に金原会長が来賓として出席し祝辞（平成4年3月19日）

### 4. 学生厚生援助

- 学生用の伝言板およびリサイクルボードを9号館2階に設置。
- 学生、教職員の共同利用機器としてカラオケ機器を9号館3階（集會室）に設置。

### 5. 会誌の発行

- 後援会の会誌「Mi-Com」4号（平成3年7月）、5号（平成3年12月）を刊行し会員へ送付。

### 6. 入会案内等の発送

- 平成2年度、3年度入学者の内、未入会者の父母宛に入会案内書（平成3年7月、10月）、および平成4年度入学予定者（推薦、A方式、付属、B方式）の父母宛に入会案内書（平成4年1月、3月）を発送。

### 7. その他

- 会員への「意見はがき」の実施  
後援会誌「Mi-Com」5号に会員から後援会に対する意見、希望をいただくための折込みの「意見はがき」を実施。

### ●校歌のCDの作成、配布

新入生に大学の歴史（英文）と校歌を覚えてもらうため、学生団体（放送会、吹奏楽団、マンドリンクラブ、グリークラブ）と教職員の協力を得て校歌のコンパクトディスク（CD）を作成し、新入生、全会員および教職員等に配布。

## (2) 運 営

### 1. 理事会

平成3年4月27日(土)

- 平成3年度評議員会提出案件の審議。

平成3年11月9日(土)

- 平成3年度の(1)事業経過、(2)入会数、(3)「大学と父母との連絡会」の結果に関する審議。
- 平成4年度の主要会議日程、役員候補者選考、入会案内書送付、後援会賞の規定等に関する審議。なお、当日は理事会終了後、顧問の古浜庄一学長ほか大学関係者との懇親会が行われた。

### 2. 評議員会

平成3年5月25日(土)

- 平成2年度事業報告・決算報告および、平成3年度事業計画案・予算案の審議。
- 平成3年度役員の選出、委嘱について。

なお、当日は評議員会に先立って学内の見学を行い、評議員会終了後、大学の教職員との懇親会が行われた。

### 3. 備品の購入

- 後援会の事務および会員名簿等の検索のため、パーソナルコンピューター一式を購入する。

### 4. 会計

平成4年4月18日(土)

- 外山、大喜多両会計監査により平成3年度の会計監査を実施。



## 平成4年度 後援会会員数

### 工 学 部

平成4年5月1日現在

| 学年  | 機 械 | 電 気<br>電 子 | 電 子<br>通 信 | 建 築 | 土 木 | 経 営 | 合 計   |
|-----|-----|------------|------------|-----|-----|-----|-------|
| 1年生 | 236 | 173        | 132        | 112 | 105 | 141 | 899   |
| 2年生 | 231 | 173        | 147        | 114 | 107 | 148 | 920   |
| 3年生 | 266 | 139        | 82         | 122 | 91  | 157 | 857   |
| 4年生 | 232 | 162        | 123        | 124 | 109 | 126 | 876   |
| 合 計 | 965 | 647        | 484        | 472 | 412 | 572 | 3,552 |

### 大 学 院

| 専攻<br>課程       | 機 械 | 生 産<br>機 械 | 電 気 | 建 築 | 土 木 | 経 営 | 原 子 力 | 合 計 |
|----------------|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 修士<br>(1,2年)   |     |            |     |     |     |     |       |     |
| 博士<br>(3,4,5年) | 31  | 27         | 54  | 14  | 22  | 9   | 2     | 159 |

## トピックス

平成4年度も始まり、各学生団体等の活動も本格的に軌道に乗り出しました。以下、顕著な正課外活動をいくつか挙げます。

### 1. ラグビー部が東京都(鈴木知事)から表彰を受け、五島育英基金奨励金100万円の受給が決定する

ラグビー部(顧問 渡辺講師 部員42名)は、過去3回の全国地区対抗戦関東第一区において代表となった活躍が認められ、このたび東京都体育協会から体育優良団体として表彰された。

また、本学法人による五島育英基金奨励賞においては、工学部でありながら同上の全国大会へ出場を果たしたことにより、奨励給費金100万円受給されることになった。

### 2. ハンドボール部が7年ぶりに2部へ昇格を果たす

ハンドボール部(顧問 浅野助教 部員21名)は平成4年度春季関東学生ハンドボールリーグ戦において5勝2敗で3部2位の成績をおさめ、5月24日(日)日体大健志台体育館で行われた2部7位との入れ替戦において拓殖大学を22-20で破り、2部に昇格した。

これは、全国の理工系大学の中ではNo.1に相当する成績で、新チーム結成以来少ない練習時間を有効に使い努力した結果であり、最近の活動の中でも特筆される快挙である。

|     |                        |                          |                |
|-----|------------------------|--------------------------|----------------|
| 1部校 | 筑波大学<br>法政大学<br>中央大学   | 日本大学<br>日本体育大学<br>順天堂大学  | 早稲田大学<br>国士館大学 |
| 2部校 | 国際武道大学<br>明星大学<br>慶応大学 | 青山学院大学<br>明治大学<br>東京学芸大学 | 東海大学<br>武蔵工業大学 |

### 3. バスケットボール部が理工系リーグ戦で1部に昇格

バスケットボール部(顧問 小玉教授 部員25名)は平成4年度春季理工系リーグ戦において3勝1敗で2部1位となり、東洋大学との入れ替戦の結果56-47で勝って見事に1部昇格を果たした。

同部は1,2年生部員が多く、今後のますますの活躍が期待される。

### 4. 第12回ホンダエコノパワー燃費競技全国大会への出場

機械工学科の学生有志6名で組織するチームサンダー(指導者 杉山助教)は来る9月19日(土)、20日(日)の両日茨城県つくば市で開催される本田宗一郎杯第12回ホンダエコノパワー燃費競技全国大会に出場することが決定した。

この競技は多くのモータースポーツとは異なり、「速さ」を競うのではなく、定められたルールの中で最高の燃費を競うもので、毎回全国から夢あふれるユニークなマシンたちが集まります。メンバーは現在試作車を製作中である。

### 5. 第4回全日本ロボット相撲大会へ参加

ロボット研究開発同好会(仮称)(指導者 田中講師)は今年12月28日、29日に東京・後楽園ドームプリズムホールで開催される第4回全日本ロボット相撲大会へ手作りロボットを製作して初参加することとなった。

この大会はラジコン部と自立型部の2部門があり、本同好会はこの両部門に出場する予定である。

今回の参加は画期的な新しいタイプのロボットが検討されており、上位入賞が期待される。

# 平成3年度 決算書

平成3年4月1日～平成4年3月31日

| 科 目             | 平成3年度予算    | 平成3年度決算    | 差 異        | 備 考                     |
|-----------------|------------|------------|------------|-------------------------|
| (収入の部)          | (円)        | (円)        | (円)        |                         |
| 1. 会 費          | 43,680,000 | 46,500,000 | 2,820,000  |                         |
| 2. 雑 収 入        | 2,500,000  | 3,511,864  | 1,011,864  |                         |
| 3. 前年度繰越金       | 37,479,441 | 37,479,441 | 0          |                         |
| 収入の合計           | 83,659,441 | 87,491,305 | 3,831,864  |                         |
| (支出の部)          |            |            |            |                         |
| 事業費             | 34,800,000 | 33,443,706 | 1,356,294  |                         |
| 4. 正課外教育援助費     | 24,500,000 | 24,033,428 | 466,572    |                         |
| 5. 父母連絡会費       | 3,300,000  | 2,826,358  | 473,642    | ●全国21ヶ所で大学と共催           |
| 6. 大学行事協力費      | 1,000,000  | 483,333    | 516,667    | ●文化講演会、スプリングフェスティバルへの援助 |
| 7. 大学厚生援助費      | 3,000,000  | 2,477,047  | 522,953    | ●カラオケ装置購入               |
| 8. 会報発行費        | 3,000,000  | 3,623,540  | △623,540   | ●Mi-com No.4、No.5       |
| 運営費             | 7,250,000  | 5,831,966  | 1,418,034  |                         |
| 9. 事務費          | 1,500,000  | 776,305    | 723,695    | ●アルバイト代、事務委託費、消耗品費      |
| 10. 会議費         | 750,000    | 860,719    | △110,719   | ●役員会、評議員会               |
| 11. 印刷・通信費      | 2,500,000  | 1,873,257  | 626,743    | ●通知、案内の郵送、印刷代           |
| 12. 旅費・交通費      | 800,000    | 773,460    | 26,540     | ●地方評議員の旅費               |
| 13. 備品費         | 1,200,000  | 1,110,649  | 89,351     | ●パソコンの購入                |
| 14. 雑費          | 500,000    | 437,576    | 62,424     |                         |
| 予備費             | 1,500,000  | 1,450,000  | 50,000     | ●校歌のCD作成                |
| 特別会計            | 8,300,000  | 8,300,000  | 0          |                         |
| 15. 後援会基本積立     | 4,300,000  | 4,300,000  | 0          |                         |
| 16. 記念事業費積立     | 2,000,000  | 2,000,000  | 0          |                         |
| 17. 学生事故対策援助費積立 | 1,000,000  | 1,000,000  | 0          |                         |
| 18. 特別課外活動援助費積立 | 1,000,000  | 1,000,000  | 0          |                         |
| 小 計             | 51,850,000 | 49,025,672 | 2,824,328  |                         |
| 次年度繰越金          | 31,809,441 | 38,465,633 | △6,656,192 |                         |
| 支出の合計           | 83,659,441 | 87,491,305 | 3,831,864  |                         |

## ●正課外教育援助費内訳

| 科 目        | 平成3年度予算                 | 平成3年度決算                 | 差 異                  | 備 考   |
|------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|---|
| 正課外活動援助費   | 24,500,000 <sup>円</sup> | 24,033,428 <sup>円</sup> | 466,572 <sup>円</sup> |   |
| 課外活動援助費    | 22,300,000              | 22,917,318              | △617,318             | ●「課外活動に対する補助制度」(資料別添)の費用(ほか)                        |
| (イ)学団連援助金  | (11,000,000)            | (11,000,000)            | ( 0)                 | ●学団連執行委員会、体育会、文化団体連合会各部、MIT祭実行委員会、吹奏楽団、放送会          |
| (ロ)一般援助金   | ( 9,500,000)            | (10,480,466)            | ( 980,466)           | ●課外研究、対外活動、情報活動、環境向上活動、用具整備、特別企画、地域活動、学団連什器、備品購入    |
| (ハ)学生行事援助金 | ( 1,800,000)            | ( 1,436,852)            | ( 363,148)           | ●体育祭、MIT祭、水泳大会、ソフトボール大会、公開企画、特別行事、Mi-Techテニストーナメント等 |
| 学生顕彰費      | 200,000                 | 66,950                  | 133,050              | ●ボランティア、課外活動、課外研究                                   |
| 学生生活指導援助費  | 2,000,000               | 1,049,160               | 950,840              | ●リーダー教育、学生団体の顧問・技術指導者の合宿指導、留学生の交流指導、研修・見学指導         |

# 平成4年度 事業計画

## (1) 事業

### 1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより活性化をはかるため、学生団体および学生行事等に対して援助を行う。

#### (1) 課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による援助を行う。

##### ○学生団体連合会への援助

(学団連執行委員会、体育会、文団連、MIT祭実行委員会、放送会、吹奏楽団)

##### ○一般援助

(課外研究、対外活動、環境向上活動、情報活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等)

##### ○学生行事への援助(全学的行事)

MIT祭、体育祭、水泳大会、ソフトボール大会、Mi-Techテニストーナメント、公開企画、特別行事等に対する援助

上記の援助は援助希望団体(個人)の申請にもとづき、大学学生部の意見を受けて決定される。

#### (2) 学生顕彰

- 課外活動賞のうち、課外活動奨励賞の副賞を贈呈。
- 後援会長賞を新しく設けて学位授与式において表彰。

#### (3) 学生生活指導

- リーダー教育、顧問・技術指導者の合宿指導、海外からの留学生の交流指導、研修・見学指導等に対する援助。

#### 2. 「大学と父母との連絡会」の開催

- 大学と共催し、全国各地において年1回「大学と父母との連絡会」を開催する。今年度は東京を含め全国25ヶ所で開催する。

#### 3. 「役員、評議員と大学教職員との懇談会」の開催

- 平成4年5月30日(土)大学から学長、理事、主任教授、学生部委員、事務局管理職が出席。

#### 4. 大学行事への協力

- 大学の主催する行事(スプリングフェスティバルほか)への協力。

- 大学で開催する学生、教職員対象の「文化講演会」への援助。

#### 5. 学生厚生援助

- 学生生活の厚生に係わる援助。(9号館、18号館の備品援助等)
- 学内クリーンキャンパス運動へ援助。

#### 6. 会報の発行

- 後援会の会報誌「Mi-Com」を年2回発行し、会員相互の親睦をはかる。

## (2) 運営

### 1. 会議

- 理事会 2回(予定)
- 評議員会 1回(予定)

### 2. 後援会業務の事務担当職員(パート)の採用について

- 発足以来4年を経過し会員数の増加に伴い、新しい事業を展開するための事務処理を行うため、事務担当者(パート)を採用する。

## 事務局だより

本年度も各学生団体には多くの新入生が加入し、活発な課外活動が始まっております。後援会による課外活動の援助制度も、学生の間に定着し数多くの援助申請があり、事務局としても大変喜んでおります。たとえば、毎年8月琵琶湖畔で行われる「鳥人間コンテスト」の参加や、「ホンダエコノカー」とか「ロボット相撲」などの全国大会への参加などがあります。また、体育会系ではラグビー部の東京都知事からの表彰やハンドボール部の2部昇格、バスケットボール部の理工系リーグの1部昇格など嬉しい知らせ等も入っております。



事務局担当(学生部長) 星野重夫

現在は、New Event Idea Contestを募集しておりますので、近い将来には武蔵工大に新しいイベントが誕生するものと、大いに期待しております。

# 平成4年度 予 算

平成4年5月30日

| 科 目                       | 平成4年度予算    | 備 考                          |
|---------------------------|------------|------------------------------|
| (収入の部)                    | (円)        |                              |
| 1. 会 費                    | 45,500,000 |                              |
| 2. 雑 収 入                  | 3,000,000  |                              |
| 3. 前 年 度 繰 越 金            | 38,465,633 |                              |
| 収入の合計                     | 86,965,633 |                              |
| (支出の部)                    |            |                              |
| 事 業 費                     | 36,800,000 |                              |
| 4. 正 課 外 教 育 援 助 費        | 25,000,000 |                              |
| 5. 父 母 連 絡 会 費            | 4,000,000  | ● 全国各地で年1回大学と共催(25会場)        |
| 6. 大 学 行 事 協 力 費          | 1,800,000  | ● スプリングフェスティバル、文化講演会、CDの製作ほか |
| 7. 学 生 厚 生 援 助 費          | 3,000,000  | ● 厚生設備等への援助(9、18号館等)         |
| 8. 会 報 発 行 費              | 3,000,000  | ● 後援会広報誌の作成(2回)              |
| 運 営 費                     | 8,000,000  |                              |
| 9. 事 務 費                  | 2,000,000  | ● アルバイト代、事務委託費、消耗品費          |
| 10. 会 議 費                 | 1,000,000  | ● 役員会、評議員会                   |
| 11. 印 刷 ・ 通 信 費           | 2,500,000  | ● 通知、案内の郵送、印刷代               |
| 12. 旅 費 ・ 交 通 費           | 1,000,000  | ● 地方評議員、役員の旅費                |
| 13. 備 品 費                 | 1,000,000  | ● 後援会関係の備品                   |
| 14. 雑 費                   | 500,000    |                              |
| 予 備 費                     | 1,500,000  |                              |
| 特 別 会 計                   | 8,300,000  |                              |
| 15. 後 援 会 基 本 積 立         | 4,300,000  | ● 将来の事業拡大のため                 |
| 16. 記 念 事 業 費 積 立         | 2,000,000  | ● 大学創立記念事業協力                 |
| 17. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立 | 1,000,000  | ● 学生事故対策として5百万円まで積立          |
| 18. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立 | 1,000,000  | ● 大規模な対外遠征援助1千万円まで積立         |
| 小 計                       | 54,600,000 |                              |
| 次 年 度 繰 越 金               | 32,365,633 |                              |
| 支 出 の 合 計                 | 86,965,633 |                              |

## ● 正課外教育援助費内訳

| 科 目               | 平成4年度予算        | 援 助 対 象   |
|-------------------|----------------|---|
| 正課外教育援助費          | 25,000,000 (円) |   |
| 課外活動援助費           | 22,300,000     | ● 「課外活動に対する補助制度」の費用ほか                                 |
| (イ)学団連援助金         | (11,000,000)   | ● 学団連執行委員会、体育会・文化団体連合会各部、MIT祭実行委員会、吹奏楽団、放送会           |
| (ロ)一般援助金          | (9,500,000)    | ● 課外研究、対外活動、情報活動、環境向上活動、用具整備、特別企画、地域活動                |
| (ハ)学生行事援助金        | (1,800,000)    | ● 体育祭、MIT祭、水泳大会、ソフトボール大会、公開企画、特別行事、Mi-tech、テニストーナメント等 |
| 学 生 顕 彰 費         | 500,000        | ● ボランティア、課外活動、課外研究、後援会長賞等                             |
| 学 生 生 活 指 導 援 助 費 | 2,200,000      | ● リーダー教育、学生団体の顧問・技術指導者の合宿指導、留学生の交流指導、研修・見学指導          |

# 平成4年度 役員・評議員

## 役員 (敬称略)

|       |         |             |         |             |             |
|-------|---------|-------------|---------|-------------|-------------|
| 会 長   | 金 原 淑 郎 | 機 械 (再)     | 理 事     | 今 村 恒 雄     | 電 子 通 信 (再) |
| 副 会 長 | 宮 崎 昭 二 | 土 木 (再)     | 理 事     | 東 野 成 元     | 機 械 (新)     |
| 副 会 長 | 井 出 正 男 | 電 気 (再)     | 理 事     | 伊 藤 泰 郎     | 経 営 (新)     |
| 理 事   | 斉 藤 久 雄 | 土 木 (再)     | 理 事     | 神 津 善 行     | 経 営 (新)     |
| 理 事   | 小 川 武 靖 | 電 気 (再)     | 会 計 監 査 | 外 山 恭 平     | 経 営 (再)     |
| 理 事   | 奥 山 彰 宏 | 機 械 (再)     | 会 計 監 査 | 大 喜 多 晃     | 経 営 (再)     |
| 理 事   | 相 場 敏 彦 | 電 気 電 子 (再) |         |             |             |
| 理 事   | 吉 田 和 孝 | 電 子 通 信 (再) |         |             |             |
| 理 事   | 坂 東 嘉 博 | 機 械 (再)     | 顧 問     | 古 浜 庄 一 学 長 |             |
| 理 事   | 太 田 眞 郷 | 電 気 電 子 (再) | 顧 問     | 佐 藤 三 祿 教 授 |             |

## 評 議 員 (敬称略)

|           |         |             |         |         |             |           |         |             |
|-----------|---------|-------------|---------|---------|-------------|-----------|---------|-------------|
| 中 條 恒 男   | 東 京 都   | 機 械 (再)     | 木 滑 孝 一 | 新 潟 県   | 電 気 電 子 (再) | 小 笹 滋 彦   | 石 川 県   | 経 営 (再)     |
| 渡 辺 和 男   | 東 京 都   | 電 気 (再)     | 藤 木 敏 朗 | 福 岡 県   | 電 気 電 子 (再) | 家 里 直 明   | 新 潟 県   | 機 械 (新)     |
| 前 野 輝 之   | 東 京 都   | 電 気 (再)     | 真 子 裕 史 | 神 奈 川 県 | 電 気 電 子 (再) | 三 浦 義 昭   | 埼 玉 県   | 機 械 (新)     |
| 松 尾 重 明   | 東 京 都   | 建 築 (再)     | 大 川 誠 一 | 神 奈 川 県 | 電 子 通 信 (再) | 荒 木 加 寿 雄 | 福 島 県   | 機 械 (新)     |
| 藤 井 勝 治   | 神 奈 川 県 | 土 木 (再)     | 伊 藤 栄 一 | 神 奈 川 県 | 建 築 (再)     | 笠 原 威     | 神 奈 川 県 | 電 気 電 子 (新) |
| 阿 部 和 夫   | 東 京 都   | 機 械 (再)     | 須 藤 忠   | 東 京 都   | 土 木 (再)     | 加 地 誠 輔   | 愛 知 県   | 電 気 電 子 (新) |
| 鈴 木 惇     | 東 京 都   | 機 械 (再)     | 樋 口 尚 志 | 福 島 県   | 経 営 (再)     | 直 江 正 彦   | 東 京 都   | 電 気 電 子 (新) |
| 松 沢 賢 治   | 東 京 都   | 機 械 (再)     | 板 野 醇 一 | 神 奈 川 県 | 経 営 (再)     | 飯 田 進 也   | 東 京 都   | 電 子 通 信 (新) |
| 安 藤 健 爾   | 愛 知 県   | 機 械 (再)     | 市 村 稔   | 埼 玉 県   | 機 械 (再)     | 島 津 靖 雄   | 愛 知 県   | 電 子 通 信 (新) |
| 岩 瀬 由 哲   | 東 京 都   | 電 気 電 子 (再) | 中 山 泰 夫 | 東 京 都   | 機 械 (再)     | 堂 本 雄 司   | 神 奈 川 県 | 電 子 通 信 (新) |
| 中 村 誠 司   | 東 京 都   | 電 気 電 子 (再) | 徳 永 勝 利 | 東 京 都   | 機 械 (再)     | 近 藤 啓 介   | 静 岡 県   | 建 築 (新)     |
| 村 口 弘 明   | 神 奈 川 県 | 電 気 電 子 (再) | 米 山 敏 夫 | 岡 山 県   | 機 械 (再)     | 田 口 尚 二   | 秋 田 県   | 建 築 (新)     |
| 水 野 政 博   | 宮 城 県   | 電 子 通 信 (再) | 穂 苅 弘 造 | 神 奈 川 県 | 機 械 (再)     | 豊 田 康 郎   | 神 奈 川 県 | 建 築 (新)     |
| 内 田 正 光   | 福 岡 県   | 建 築 (再)     | 大 竹 進 一 | 北 海 道   | 電 気 電 子 (再) | 今 井 洽     | 神 奈 川 県 | 土 木 (新)     |
| 赤 松 和 人   | 岡 山 県   | 建 築 (再)     | 川 村 隆   | 神 奈 川 県 | 電 気 電 子 (再) | 金 丸 信 吾   | 山 梨 県   | 土 木 (新)     |
| 上 谷 義 介   | 埼 玉 県   | 土 木 (再)     | 出 海 滋   | 東 京 都   | 電 気 電 子 (再) | 八 木 高 志   | 神 奈 川 県 | 土 木 (新)     |
| 早 川 源 之 進 | 北 海 道   | 土 木 (再)     | 柴 村 誠 一 | 神 奈 川 県 | 電 子 通 信 (再) | 永 田 博 司   | 神 奈 川 県 | 経 営 (新)     |
| 堀 尾 浩 司   | 東 京 都   | 経 営 (再)     | 埴 昭 彦   | 神 奈 川 県 | 電 子 通 信 (再) | 羽 瀧 一 郎   | 東 京 都   | 経 営 (新)     |
| 鈴 木 亮 三   | 神 奈 川 県 | 経 営 (再)     | 千 野 恒 夫 | 山 梨 県   | 建 築 (再)     | 仲 山 省 三   | 岡 山 県   | 経 営 (新)     |
| 奥 村 隆 俊   | 静 岡 県   | 機 械 (再)     | 西 山 廣 一 | 東 京 都   | 建 築 (再)     | 中 田 敏 雄   | 石 川 県   | 経 営 (新)     |
| 川 田 勝 保   | 栃 木 県   | 機 械 (再)     | 飯 尾 宏 允 | 大 分 県   | 土 木 (再)     | 代 永 衛     | 東 京 都   | 経 営 (新)     |
| 柳 沢 次 男   | 東 京 都   | 機 械 (再)     | 佐 藤 安 宏 | 福 島 県   | 土 木 (再)     |           |         |             |
| 大 司 秀     | 東 京 都   | 機 械 (再)     | 久 保 田 滋 | 東 京 都   | 経 営 (再)     |           |         |             |

# 平成3年度「課外活動に対する補助制度」による援助

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられたものです。

## ▶ 第1回分(平成3年6月)

| No. | 団体名                                | 学生代表者名                        | 顧問名   | 活動の内容   | 援助金額(円)   |
|-----|------------------------------------|-------------------------------|-------|---|---|
| 1   | 学生団体連合会                            | 近藤千弘                          | 星野重夫  | 平成3年度学生団体連合会への援助金として  | 11,000,000  |
| 2   | 学生団体連合会<br>学団連本部<br>文団連本部<br>MIT実委 | 近藤千弘<br>近藤千弘<br>安岡賢太郎<br>本間法義 | 星野重夫  | 9号館の新しい部屋への移動に伴う什器、備品の購入設置<br>(1)印刷機 1台/(2)整理棚 5本/(3)ソファ 2本/(4)事務机 3本/(5)回転椅子 1脚/(6)ホワイトボード 3枚/(7)パイプ椅子 20脚 | [内 訳]<br>学団連 1,262,471<br>文団連 156,869<br>M実委 581,950<br>合 計 2,001,290 |
| 3   | 柔道部                                | 新家忠彦                          | 神山光男  | 第32回全日本理工科学生柔道優勝大会の大会幹事校として   | 100,000   |
| 4   | 空手道部                               | 高橋伸忠                          | 佐藤 寛  | 第39回東都六工大空手道選手権大会大会幹事校として   | 100,000   |
| 5   | 演劇部                                | 高橋卓彦                          | 中添 淳  | 平成3年度春期公演の費用として   | 110,000   |
| 6   | アメリカンフットボール部                       | 中村三昭                          | 古賀浩二郎 | 第5回東西工業大学交流戦への遠征費用として   | 200,000   |
| 7   | 山岳部                                | 池田啓二                          | 橋本正明  | 山行に対する援助  | 69,100  |
| 8   | 洋弓部                                | 五十嵐千幸                         | 安味貞正  | 学生アーチェリー東日本大会への出場 中沢 浩一(機械3年)   | 50,760  |
| 9   | 弓道部                                | 竹山秀樹                          | 伊藤泰郎  | 第25回関東理工系大学弓道定期戦の幹事校として   | 50,000  |
| 10  | ラジオクラブ                             | 高張太郎                          | 井出正男  | 大会参加に伴う無線機器及び周辺機器の購入  | 50,000  |
| 11  | アイスホッケー部                           | 小川 誠                          | 師岡利政  | 平成3年度関東大学アイスホッケーリーグ戦Cグループ優勝   | 300,000   |
| 12  | 水泳部                                | 小林耕一                          | 土井雅博  | 付属中高校水泳部との交流会   | 20,000  |
| 13  | ヨーロッパ研修旅行グループ                      | 永山晶久                          | 土井雅博  | 海外研修セミナーのアフターセミナー   | 30,000  |
| 14  | 写真部                                | 百々 泰                          | 野崎喜嗣  | 写真展「六月場所」の開催  | 50,000  |
| 15  | マンドリンクラブ                           | 田辺 肇                          | 高岡 京  | 本学と清泉女子大学とのジョイントコンサートの開催  | 50,000  |
| 16  | 体育会 武道系団体                          | 田村喜浩                          | 木村富夫  | 武道系ナイトハイク(大学-江ノ島)の行事開催  | 50,000  |
|     | 合 計                                |                               |       |   | 14,231,150  |

## ▶ 第2回分(平成3年10月)

| No. | 団体名                     | 学生代表者名 | 顧問名   | 活動の内容   | 援助金額(円)          |
|-----|-------------------------|--------|-------|---|------------------|
| 1   | 学生団体連合会                 | 近藤千弘   | 星野重夫  | 大学のマスコット「MIT君」(ぬいぐるみ)の購入  | 300,000          |
| 2   | MIT祭実行委員会               | 本間法義   | 小玉克己  | ①MIT祭の講演会(60万)/②研究室解放に対する援助金(20万)/③尾山台商店街の横断幕掲出(36万)/④風船の作成(20万)                    | 1,360,000        |
| 3   | マイテックテニストーナメント<br>実行委員会 | 塩原潤一   | 古賀浩二郎 | 第2回 Mi-Tech テニストーナメントへの援助金  | 510,000          |
| 4   | 自動車部                    | 岡安 健   | 湯浅栄二  | 全日本学生自動車連盟ラリースプリント全国大会出場  | 100,000          |
| 5   | 英会話研究部                  | 桜井康晴   | 高山誠太郎 | 第26回武蔵工業大学学長杯争奪英語討論大会の開催  | 50,000           |
| 6   | グリークラブ                  | 浅井貴之   | 井出正男  | 第14回実践女子大・国学院大との三大学ジョイントコンサートの開催  | 50,000           |
| 7   | マイクロコンピュータクラブ           | 鶴沢昌宏   | 松山 実  | MIT祭への出展に伴う器材の購入  | 40,000           |
| 8   | 剣道部                     | 中村一誠   | 木村富夫  | 第37回関東理工科系剣道大会に出場(男子団体3位)   | 50,000           |
| 9   | 水泳部                     | 小林耕一   | 土井雅博  | 関東学生選手権水泳大会に出場し、4部34大学中準優勝(3部昇格)<br>6大学対抗水泳大会の当番校(総合優勝)                             | 50,000<br>50,000 |
| 10  | ワンダフォーゲル部               | 太田岳晃   | 安味貞正  | 活動用の共同装備の購入   | 50,000           |
| 11  | 洋弓部                     | 五十嵐千幸  | 安味貞正  | 大会出場遠征費<br>①全日本学生アーチェリー個人選手権大会/②全日本フィールドアーチェリー選手権大会/③全日本アーチェリー選手権大会(バルセロナ五輪代表1次選考会) | 172,240          |
| 12  | 音響研究会                   | 上坂晃一   | 今井章久  | MIT祭参加に伴う費用の援助  | 40,000           |
| 13  | 武蔵工大みこし連                | 金子 淳   | 土井雅博  | 玉川神社の祭りに参加  | 50,000           |
|     | 合 計                     |        |       |   | 2,872,240        |

▶ 第3回分(平成3年12月)

| No. | 団体名           | 学生代表者名 | 顧問名   | 活動の内容                        | 援助金額(円)   |
|-----|---------------|--------|-------|------------------------------|-----------|
| 1   | 吹奏楽団          | 城本浩光   | 吉田祐夫  | ビブラフォンの購入(共同利用器具として)         | 930,000   |
| 2   | 放送会           | 久瀬 宙   | 今井章久  | 学内放送用のミキサーの購入                | 790,000   |
| 3   | ハンドボール部       | 宮本秀志   | 浅野鉦世  | 関東学生ハンドボール連盟秋季3部リーグ戦において優勝   | 200,000   |
| 4   | スキー部          | 高橋 聡   | 浅野鉦世  | インカレ出場および部の活動費の援助として         | 50,000    |
| 5   | ヨット部          | 三木洋一   | 光井英雄  | ヨットの試乗会の援助として                | 250,000   |
| 6   | 合気道部          | 北沢和成   | 藤川英司  | 全国合気道演武会と学生演武大会への参加          | 50,000    |
| 7   | 少林寺拳法部        | 戸沢潤帆   | 曾祢元隆  | 活動用の防具の購入のため                 | 20,000    |
| 8   | バスケットボール部     | 綱島秀人   | 小玉克巳  | 第33回大阪工大との定期戦に対して            | 100,000   |
| 9   | SFファンタジー研究部   | 石井浩一   | 綾日出教  | MIT祭への出展とTRPGセットの購入          | 30,000    |
| 10  | パッチャーセブン      | 山口 洋   | 押川恵一  | MIT祭でのライブコンサートの開催            | 20,000    |
| 11  | 美術部           | 桑原 茂   | 田村 宏  | 年間の活動に対する援助                  | 50,000    |
| 12  | マイコンクラブ       | 鶴沢昌宏   | 松山 実  | プログラム学習用のプリンター等の購入           | 30,000    |
| 13  | グリークラブ        | 浅井貴之   | 井出正男  | 第32回定期演奏会への援助                | 50,000    |
| 14  | マンドリンクラブ      | 笠井 亮   | 高岡 京  | '92 ジョイントコンサートおよび第29回定期演奏会開催 | 100,000   |
| 15  | 写真部           | 百々 泰   | 野崎喜嗣  | MIT祭への出展                     | 50,000    |
| 16  | 天文研究会         | 中沢弘一   | 黒沢 敦  | MIT祭への出展で学長賞を受賞              | 100,000   |
| 17  | レッドストックスキー同好会 | 白幡部弘   | 遠藤 一郎 | SAJバッジテスト取得のための活動に対する援助      | 20,000    |
| 18  | 機械材料研究室       | 松岡 忍   | 浅見克敏  | テレビ出演に伴う器材等の購入/TBS『金曜テレビの星』  | 220,000   |
| 19  | 機械工作研究室       | 藤田 工   | 土井雅博  | アイスホッケー教室のリンク使用料として          | 40,000    |
|     | 合計            |        |       |                              | 3,100,000 |

▶ 第4回分(平成3年2月)

| No. | 団体名           | 学生代表者名 | 顧問名   | 活動の内容                         | 援助金額(円)   |
|-----|---------------|--------|-------|-------------------------------|-----------|
| 1   | 学生団体連合会       | 加藤一司   | 星野重夫  | 平成4年度学生団体連合会のリーダーシップキャンプに対して  | 300,100   |
| 2   | 電気研究会         | 原 孝宏   | 光井英雄  | 全日本ロボット相撲大会等の行事に参加したことに対して    | 87,446    |
| 3   | 如学会           | 志村高一   | 大須賀常良 | 卒業設計展示会開催に対して                 | 138,400   |
| 4   | 経工会           | 山本耕司   | 村原 貞夫 | 経工会の年間活動に対して                  | 85,000    |
| 5   | 山岳部           | 村田光一   | 橋本正明  | 大学山岳部リーダー冬山研修会の参加(文部省山岳研修)    | 96,280    |
| 6   | 洋弓部           | 前野茂樹   | 安味貞正  | 第4回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会      | 149,340   |
|     |               |        |       | 洋弓の収納棚の購入                     | 100,000   |
| 7   | 武蔵工業大学庭球同好会連盟 | 深沢嘉彦   | 門馬伯行  | 第11回武蔵工大庭球同好会オープントーナメント大会への援助 | 111,800   |
| 8   | ラジオクラブ        | 三好秀明   | 井出正男  | アンテナ設置等に対して                   | 100,000   |
| 9   | グリーンキャンパス促進の会 | 菊池康之   | 市川 勇  | グリーンキャンパス促進の会の活動に対して          | 50,000    |
|     | 合計            |        |       |                               | 1,218,366 |

# クラブ活動紹介④

今回ご紹介するのは、関東学生ハンドボールリーグの2部昇格を目指して、リーグ最終戦に臨むハンドボール部と、「鳥人間コンテスト」の出場が決まった航空研究部の充実した学生生活の様子をお届けします。

## 武蔵工大ハンドボール部リーグ戦上位進出を目指して熱戦

ハンドボールは直径20センチほどのボールを相手のゴールにシュートして得点を競う、スリルとスピード感あふれるスポーツ。5月17日、新緑に囲まれた武蔵工大体育館で、武蔵工大のリーグ戦上位入替戦の挑戦権をかけた試合が行われました。対戦するのは東京工業大学。その熱戦の模様をお伝えしましょう。

### 少ない練習時間でも、戦績優秀

「たぶん勝つとは思いますがね。勝たないことには入替戦ができませんし、相手は同じ工業系の大学ですからね。面子にかけても勝ちたいですね」と、試合前に語ってくださったのは、20年来武蔵工大ハンドボール部の監督をされている浅野先生。おだやかな口調の中にも自信と意気込みがうかがえます。



▲部員の信頼を集める監督の浅野経世先生

武蔵工大が所属する関東学生ハンドボールリーグは1部～7部までであり、1部～6部は各8校、7部は15校で構成されています。春と秋に各部ごとにリーグ戦が行われ、その戦績によって上位に昇格、あるいは下位に降格することもあります。今日の試合は3部の最終戦。武蔵工大はこの試合に

勝つと5勝2敗で3部の2位になり、後日2部への昇格をかけた入替戦ができるというわけです。

午後1時30分、体育館前のグラウンドで練習を始めた武蔵工大。ランニングのかけ声にも気合が入ります。

「実は、去年も春は2位、秋は優勝して、入替戦

では惜敗しているんですよ。練習回数が少ないわりには良い成績をあげているとは思いますが」と、コーチの中居淳君(経営工学科4年)。

武蔵工大ハンドボール部は、部員数24名。今年は新入部員10名と女子マネージャー4名をむかえ、活気に満ちています。練習は週3～4回で、約2時間行います。春と夏にはそれぞれ7泊8日の合宿があり、他校と練習試合をしながら鍛えるとのこと。また、リーグ戦のある1ヵ月程は週4日練習があるそうですが、理工系の大学は実習や実験、



▲試合前のトレーニング

レポートなどが多いため、どうしても練習時間が制限され、また、全員がそろわないことがあります。そんな中で優秀な戦績を残している秘訣はどこにあるのでしょうか。

### 監督の檄も飛び、試合は白熱

午後3時、いよいよ試合開始。武蔵工大のユニフォームは濃いブルー、東工大は赤です。武蔵工大のベンチにはOBの姿も見えます。開始直後、武蔵工大が続けて得点し、2-0。その後両校とも交互に得点を重ね、接戦を展開。時折ラフなプレーも見られ、ベンチからは浅野先生の檄も飛んで試合は白熱してきました。武蔵工大は、キャプテンの宮本秀志君(電気電子工学科4年)を中心に全員がよく動き、優勢のうちに16-10で前半終了。



▲今日の試合は負けません。自信満々の宮本秀志君



▲熱戦に沸く体育館



ハンドボール部  
顧問：浅野征世 助教授  
主将：宮本秀志(電気電子工学科4年)  
部員数：24名

10分間の休憩の後、後半戦開始早々に武蔵工大がまたまた続けてシュートを決め、2点獲得。東工大もすぐに1点を返します。そのまま接戦になるかと思われましたが、結局武蔵工大リードのまま、31-16と大勝しました。

試合終了後、浅野先生は、「いやあ、何とか勝てましたよ」と言いながらもさすがに嬉しそうです。しかし、「まだ入替戦がありますからね」と、気持ちはずでに1週間後の試合に向いているようでした。

### クラブの仲間が勉強の励みに

さて、課題や実習など学業だけでもかなり忙しい部員をまとめていくのは大変なのではないか、という質問にキャプテンの宮本君は、「似たような考え方の仲間が多いので、それほど苦労はありませんでした。監督さんも理解がありますし」また、勉強とクラブの両立について、芝崎 勉君(建築学科4年)は、「簡単ではありませんでした。徹



▲とにかくクラブは楽しいと芝崎 勉君

夜もしたし…でもクラブにくると楽しいし、みんなも同じことをしているんだと思うとがんばれます。監督さんも練習は厳しいけれど、クラブと学業の両立を一番に考えてくれますから」。

監督の浅野先生の厳しい練習と部員に対する理解、部員同士の連帯感、そして学業とクラブを両立させようとする部員一人ひとりの強い精神力、これらが武蔵工大ハンドボール部の戦績が優秀な



▲笑顔を絶やさないマネージャー達、左から安達真美さん、菊池淑子さん、道岡紀代子さん、五十嵐直美さん

秘訣なのでしょう。

さらに選手たちのために、かいがいしく働く女子マネージャー4人(安達真美さん、菊池淑子さん、五十嵐直美さん、道岡紀代子さん、いずれも経営工学科1年)の陰の力も忘れてはならないでしょう。

最後に相手チームのシュートを全身で受け止めているゴールキーパーの小林直樹君(建築学科4年)に恐怖心はないかと聞いたところ、「来るなら来てみろ、という気持ちでやっています」とのこと。この気迫が部員たちの士気を高めるのに一役買っているのかもしれない。

5月の風のように爽やかな笑顔が印象的だった武蔵工大ハンドボール部の選手たち……1週間後の入替戦も勝利が期待できそうです。



▲来るならこいとキーパーの小林直樹君

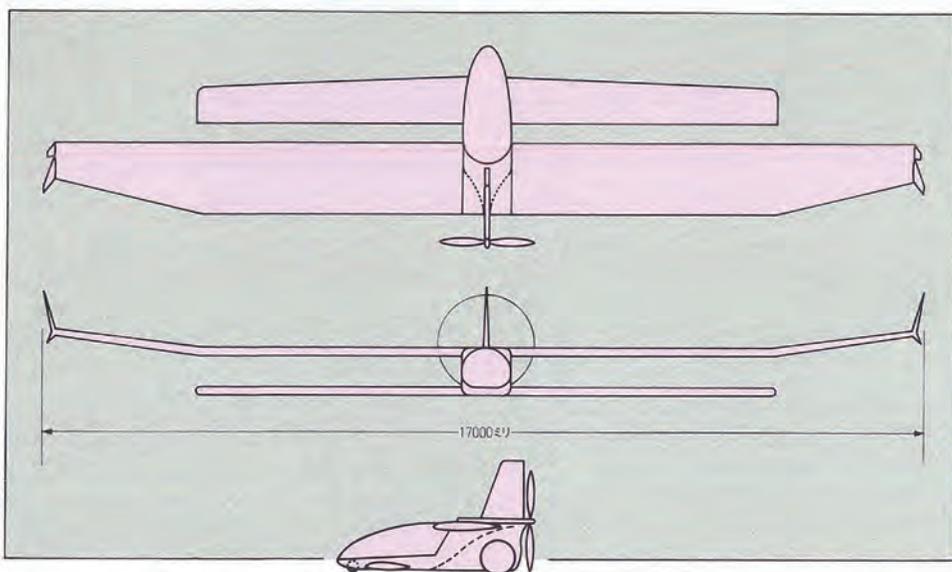
### 特報

### 壁を越えた!

### 接戦の末、念願の2部昇格へ

5月24日、日本体育大学健志台体育館で関東学生ハンドボールリーグの、2部と3部の入替戦が行われました。武蔵工大が対戦したのは2部7位の拓殖大学。試合前、キャプテンの宮本君は「(2部昇格は)どうしても越えられない壁」と話していましたが、大接戦の末、22-20で武蔵工大が勝利。その結果、今年の秋のリーグ戦から念願の2部でプレーすることになりました。去年は2度も入替戦で負けているだけに、監督の浅野先生をはじめ選手たちの感激もひとしお。

全国の理工系大学の中ではNo.1となった武蔵工大。強豪ぞろいの2部でどんな活躍をしてくれるか楽しみです。(4頁トピックス参照)



## 鳥人間の夢を追う、武蔵工大航空研究部

航空研究部

顧問：稲村二彦 講師

部長：下山祐司(機械工学科3年)

部員数：23名

自分の力で鳥のように自由に空を飛ぶたい——それは誰もが一度は抱いたことのある夢でしょう。その夢を追いつけ、念願の「鳥人間コンテスト」(読売テレビ主催)に出場が決まった武蔵工大航空研究部。8月1日に琵琶湖畔で開催されるこの大会をめざし、人力飛行機を製作中の部室を訪ねてコンテストへの意気込みなどをうかがいました。

### 5年目にして難関突破!

武蔵工大航空研究部の創立は5年前。飛行機の好きな学生が集まって同好会として発足しました。昨年12月に文化団体連合会に加盟し、現在、この本部長を航空研究部の織田陽平君(機械工学科3年)が努めています。



▲大所高所からみているだけの織田陽平君

クラブ創立以来の大きな目標は何といっても鳥人間コンテストへの出場でした。鳥人間コンテストとは、自作の人力飛行機でその飛行距離を競う大会。第1回目は1977年に行われ、今年で16回目を数えます。

大会に参加するには、まず大会実行委員会に申込書を提出し、次に機体の設計図を提出して書類選考会を通過しなければなりません。武蔵工大航

空研究部は過去4回、この書類選考会を通ることができませんでした。しかし、5回目にしてみごと関門突破、出場を認められました。ちなみに今年の設計図の提出総数は約300件。そのうち出場権を得たのは61件だそうです。

今回の武蔵工大航空研究部の飛行機は上の設計図のように後翼が17mもあり、機体が短いのが特徴。人力でプロペラを回して飛びます。重量は45kgになる予定で、琵琶湖までは分解して運びます。

### 機体製作費は後援会より援助

4月10日頃に大会出場が決まり、まず最初になければならなかったことは、機体製作費を捻出すること。人力飛行機とはいえ、当初の見積りでは製作費は約100万円。

クラブの歴史が浅いので、

OBの援助は期待できません。そのため部長の下山祐司君(機械工学科3年)を中心に細かな予算表と製作日程表を作成し、大学に提出して後援会に援助をお願いすることにしました。製作費を安く上げるためには、「部品のメーカーを電話帳で調べて交渉し、よい素材をできるだけ安く購入しています」と、下山君。また、輸送費を少しでも浮



▲あー時間がほしいと下山祐司君



▲追い込み作業の手を休めて

かして製作費にあてようと、機体の運搬はトラックを借りて、運転は部員の木村憲洋君（機械工学科3年）が担当する予定です。

このほか、不要になった自転車を運んできて利用したり、道具を自分たちで作ったりと苦労も多いようですが、夢の実現に向けては、それも楽しみのひとつなのでしょう。



▲空より陸上が得意の木村憲洋君

## ロマンを追い、現実を見据える

取材した6月10日は、飛行機の製作を始めて1週間目。残念ながら機体を見ることはできませんでしたが、部室の外で作業をしている部員たちの姿は実に生き生きとしていました。

航空研究部の部員は、現在23名。入部の動機を聞いてみると、「ものを作ることが好きだから」「飛行機が好きだから」そして「鳥人間に挑戦してみたかったから」と、全員ほぼ同じ答え。吉澤匡君（電子通信工学科1年）は、「きちんと目的を持った



▲僕よりおやじが夢中と吉澤匡君

学生生活を送りたいと思って…実は僕のおやじも鳥人間に何度かチャレンジしてダメだったんですよ。今回の出場をととても喜んでくれて、何か手伝わせてくれと言ってました」親子二代の夢が叶いに叶ったというわけです。

航空研究部の活動日は、毎週水曜日と土曜日の4～5時間ほど。鳥人間コンテストに向けての設計図の作成や機体の製作などが活動の中心になりますが、そのほか航空会社の飛行機整備工場の見学なども行なっています。

★8月1日の第16回鳥人間コンテストの様子は、8月20日の『木曜スペシャル』（日本テレビ系 19:30～20:55）で放映予定です。ぜひ、航空研究会の活躍ぶりをご覧ください。

6月から7月末までは機体製作のため、毎日活動すると聞き、勉強との両立はどうしているのかと下山君に質問したところ、「みんな、うまくいっていると思いますよ。大学の授業にも役立っているし」とのこと。「みんなで一つのものを作り上げていくことが楽しい」と、目を輝かせて話す部員たち。大きなロマンを追いながらも、しっかりと現実を見据え、充実した学生生活を送っているようです。

## 部員の英知とパイロットの努力を結集

さて、人力飛行機の最大の動力源は人間——つまりパイロットです。飛行機ができるだけ長く飛ぶためには、パイロットは軽量でしかも体力のある人が求められます。今回パイロットに選ばれたのは西畑浩憲君（機械工学科2年）。身長173cm、体重55kgというスリムな体と、自転車通学で鍛えた脚力が買われたそうです。

「今回の飛行機は予想ではどのくらい飛べそうですか」という質問に、部員一同笑いながら、「西畑の体力しだいです」西畑君は、みんなの期待と信頼に応えるべく、自慢の脚力にさらに磨きをかけようとトレーニングルームに通っているとのこと。



▲機体作りより体力作り、西畑浩憲君

また飛行機は高さ10mの所から飛び立ち、琵琶湖の水面に着水することになっているため、大会規約では『パイロットは泳げなければならない』ということになっています。西畑君は体力をつける意味も兼ねて、プールにも通っているそうです。

部員たちの英知とパイロットの努力を結集して、武蔵工大航空研究部の人力飛行機は、真夏（8月1日）の琵琶湖の空に大きくはばたくことでしょう。

# 平成4年度「大学と父母との連絡会」のお知らせ

## 全国25ヶ所で開催

後援会と大学の共催により平成4年度「大学と父母との連絡会」を下記の25会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子弟の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

### ●平成4年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

(注)いずれの会場も開始10分前にご集合ください。

| 開催地  | 開催日      | 開催時間                                | 会場と所在地(電話番号)  | 備考                                      |
|------|----------|-------------------------------------|---|---|
| 旭川市  | 9月5日(出)  | 9:30~12:00                          | 旭川ワシントンホテル<br>旭川市一条通6丁目左10号 (0166-25-3311)            |   |
| 札幌市  | 9月6日(日)  | 9:30~13:00                          | 札幌ガーデンパレス<br>札幌市中央区北一条西6丁目(011-261-5311)              |   |
| 秋田市  | 9月11日(金) | 10:00~12:00                         | 秋田ビューホテル<br>秋田市中通2-6-1 (0188-32-1111)                 |   |
| 仙台市  | 9月12日(土) | 10:00~12:00                         | ホテルサンルート仙台(3F 藤の間)<br>仙台市中央4-10-8 (022-262-2323)      |   |
| 福島市  | 9月13日(日) | 13:00~15:00                         | 福島ワシントンホテル(9F キングの間)<br>福島市栄町2-36 (0245-21-1711)      |   |
| 宇都宮市 | 7月25日(土) | 13:30~16:00                         | 宇都宮ロイヤルホテル(3F ロイヤルホール)<br>宇都宮市北野町11-16 (0286-33-0331) |   |
| 水戸市  | 7月26日(日) | 10:30~13:30                         | 水戸京成ホテル(3F ヒスイの間)<br>水戸市三ノ丸1-4-73 (0292-26-3111)      | 食事会方式となりますので当日、食事代として2500円を徴収させていただきます。 |
| 東京都  | 9月27日(日) | 11:30~15:00                         | 武蔵工業大学<br>世田谷区玉堤1-28-1 (03-3703-3111)                 | 昼食は学生が利用している学生食堂のメニューを試食していただく予定です。     |
| 高崎市  | 8月29日(土) | 10:00~13:00                         | 高崎ワシントンホテル(11F 桜の間)<br>高崎市八島70 (0273-24-5111)         | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 新潟市  | 8月30日(日) | 10:00~13:00                         | ホテルイタリア軒(5F 朝日の間)<br>新潟市西堀通7番町1574 (025-224-5111)     | 食事会方式となりますので当日、食事代として2500円を徴収させていただきます。 |
| 甲府市  | 9月20日(日) | 10:00~14:00                         | 甲府ホテル(2F メイブルの間)<br>甲府市北口1-2-17 (0552-52-1311)        | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 長野市  | 9月19日(土) | 10:00~13:30                         | 長野ファーストホテル(4F すそばの間)<br>長野市南泉町1,107 (0262-35-8686)    | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 富山市  | 9月6日(日)  | 10:30~13:30                         | 富山エクセルホテル東急<br>富山市新富町1-2 (0764-41-0109)               | 食事会方式となりますので当日、食事代として2500円を徴収させていただきます。 |
| 金沢市  | 9月8日(火)  | 10:30~13:30                         | 金沢東急ホテル<br>金沢市香林坊2-1-1 (0762-31-2411)                 | 食事会方式となりますので当日、食事代として2500円を徴収させていただきます。 |
| 静岡市  | 9月5日(土)  | 午前の部 9:30~12:00<br>午後の部 13:30~16:00 | 日航会館<br>静岡市紺屋町9-9 (054-252-0191)                      |   |
| 名古屋市 | 9月4日(金)  | 10:30~13:30                         | 名古屋栄東急イン<br>名古屋市中区栄3-1-8 (052-251-0109)               | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 大阪市  | 9月3日(木)  | 10:30~13:30                         | 大阪東急イン<br>大阪市北区堂山町2-1 (06-315-0109)                   | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 岡山市  | 9月5日(土)  | 10:30~13:30                         | 岡山東急ホテル(3F 旭の間)<br>岡山市大供3-2-18 (0862-33-2411)         | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 広島市  | 9月6日(日)  | 午前の部 9:30~12:00<br>午後の部 13:30~16:00 | 広島インテリジェントホテル(2F)<br>広島市南区東荒神町3-36 (082-263-7000)     |   |
| 松江市  | 9月4日(金)  | 10:30~13:30                         | 松江東急イン(2F 羽衣の間)<br>松江市朝日町590 (0852-27-0109)           | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 松山市  | 9月6日(日)  | 11:00~13:30                         | シャトーテル松山(2F クリスタルルーム)<br>松山市三番町4-9-6 (0899-46-2111)   | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 高知市  | 9月4日(金)  | 11:00~13:30                         | ホテルサンルート高知(相生の間)<br>高知市北本町1-1-28 (0888-23-1311)       | 食事会方式となりますので当日、食事代として2000円を徴収させていただきます。 |
| 福岡市  | 9月20日(日) | 午前の部 9:30~12:00<br>午後の部 13:30~16:00 | ホテルステーションプラザ<br>福岡市博多区博多駅前2-1 (092-431-1211)          |   |
| 大分市  | 9月19日(土) | 9:30~12:00                          | 大分パークインホテル<br>大分市中央町2-2-9 (0975-37-1221)              |   |
| 那覇市  | 7月12日(日) | 10:00~13:00                         | 沖縄東急ホテル(1F サファイアの間)<br>那覇市天久1002 (0988-68-2151)       |   |